

地域密着型金融推進計画（平成24年度実績）

25年6月14日

淡陽信用組合

1. 平成17年4月から25年3月までの地域密着型金融推進計画については、ほぼ計画どおり進めることが出来ました。引き続きこれらの施策を着実に実行しつつ、中小零細事業者と個人に対する円滑な資金供給や経営相談・支援機能、情報提供機能などの付加価値の高いサービスを提供するとともに、地域金融に対して十分な役割と機能を果たせる金融機関をめざします。

2. 地域密着型金融推進計画に基づく個別項目の進捗状況表

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 4 年 度 通 期 計 画	平 成 2 4 年 度 通 期 実 績
1. ビジネスモデルとして確立			
(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮 創業・新規事業支援	地域経済活性化の為、新規開業、新分野への進出支援を公的助成制度の紹介等により積極的に取組。 又、信用組合と商工3団体の連携による「しんくみ創業塾」に積極的に参加し創業を目指す地域起業家に対する支援を積極的に行う。(目標20先)	<ul style="list-style-type: none"> 商工会、地域経営センター、地公体へ定期的な訪問を実施し助成金や制度融資の紹介を受ける。 「しんくみ創業塾」独自のファイナンス商品を積極的に利用する。 	商工会、地域経営センター、地公体へ定期的な訪問を実施し情報収集等に徹底した結果、創業・新規事業支援の貸し出し実績は、29先の552百万円でありました。
成長段階における更なる支援	<ul style="list-style-type: none"> 事業拡大の為の資金需要に対する信用供与(目標20先) ビジネスマッチングによる、新たな販路の獲得等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地公体、商工会議所、業界団体等からの情報収集により事業拡大支援を積極的に行う。 しんくみネットの活用(企画部) ひょうご産業活性化センターとの連携を図る。 	商工会・ひょうご産業活性化センター等へ訪問し、営業店における顧客へのコンサルティング機能発揮により事業拡大資金に対する貸し出し実績は、32先の665百万円でありました。 信組ネットについては当組は組合員証を購入しており、まずは職員に配布し、講習会に参加積極的に取り組む予定です。
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> 大口貸出先、融資部指定先、ランクアップ対象先を抽出し融資部コンサル担当者が営業店へ臨店、顧客企業へ訪問し経営改善支援を行う。(ランクアップ先10先) 事業再生、改善が見込まれる先には貸出条件変更等を実施、償還能力向上が見込まれる場合は新規の信用供与も積極的に行う。 中小企業再生支援協議会等との連携による事業再生計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 大口貸出先20先、融資部指定先30先、ランクアップ対象先40先を抽出しランクアップを図る。 中小企業診断士資格取得職員等による顧客企業先への支援態勢の強化。 	融資部コンサル担当者が営業店へ臨店個別指導を実施した結果、融資部指定先で3先、問題債権先で2先、ランクアップ先で13先のランクアップが図れました。 リスク先への新規融資は、積極的に対応した結果、71先1811百万円実行しました。
事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> 相続対策支援を積極的に行う。 承継予定者と経営課題等について積極的に相談指導を行う。 	顧客企業を日常的、継続的に訪問し、承継者へ相談、指導を積極的に行う。	顧客企業へ日常的、継続的に訪問した結果、事業承継のための必要資金貸し出しは、4先の122百万円となりました。

<p>人材の育成</p>	<p>コンサルティング機能を発揮する為、内部研修、外部講師による研修を実施し人材育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・融資実務研修 6 回 ・外部講師による研修 4 回 ・定性分析入門講座 6 回 ・粉飾決算分析に強くなる講座 6 回 	<p>融資実務研修 6 回 若年層融資研修 12 回 外部講師による研修 9 回</p>
<p>(2) 地域の面的再生への積極的な参画 地方公共団体との連携支援 商工会との連携支援 各種団体との連携支援 (漁業者及び水産加工業者・青果業)</p>	<p>・地公体、商工会、各種団体へ定期的に訪問、情報収集し、各団体と連携し経営支援を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水産加工業者向け商品の開発 ・地域中堅企業等成長促進融資制度の活用 (1) 医療関連分野 (5 億円) (2) 保険、福祉、介護関連分野 (5 億円) (3) 地域資源活用産業分野 (2 億円) 	<p>水産加工業者 3 先 90,314 千円 そうめん加工業者 10 先 40,528 千円 海苔加工業者 12 先 51,000 千円</p>
<p>(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信の実施。 ホームページによる情報発信 淡陽ニュースによる情報発信 ディスクロージャー誌による情報発信</p>	<p>・ホームページ等により当組合の地域密着型金融の具体的実施状況、成果等を積極的に情報発信する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公表 金融円滑化の実施状況 地域貢献について ・淡陽ニュースは年 4 回発行 ・ディスクロージャー誌発行 (24 年 7 月)

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 4 年 度 通 期 計 画	平 成 2 4 年 度 通 期 実 績
2. 地域の利用者の利便性向上	(利便性向上部会)		
(1) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「近い」「早い」「親切」をモットーに夢あるくらしのパートナーとして努力するとの当信用組合の理念を取り組み方針とする。 ・顧客からの相談・要望・情報に対し、より質の高いサービスを提供、利用者の利便性の向上を図り経営基盤の拡充を図る。 ・「ご相談窓口(営業店)」「お客様相談室(本部)」の連携を図り、本支店一体となってサービス提供に取り組む。 ・経営情報の提供として「デイリー経済情報」「年金世代の健康と暮らしの情報」「いきいきライフを応援する情報」の活用と「講演会」を開催する。 ・しんくみ生活総合センターの「ビジネスマッチング」「中小企業向け経営診断」等「しんくみネット」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～7回の利用者満足度アンケート調査の結果を踏まえ適宜改善を図る。 ・第8回利用者満足度アンケート調査検討・実施。 ・利用者の声の把握・検証。 ・「経済講演会」「CS・マナー研修会」実施。 ・視覚障害者に対応した店舗整備 ・視覚障害者対応のATM機増設 ・顧客からの相談に適切に対応でき又、コンサルタント能力の発揮できる人材育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回アンケート調査の結果を検証し改善可能なものは実施(24年5月) ・第8回アンケートの項目検討の上、実施(25年1月)し結果を分析し各営業店に開示。 ・経済講演会を開催(24年11月16日) ・視覚障害者対応のATM機8台増設(24年5月) ・視覚障害者等の与信取引時における事務取扱手続制定(24年7月)
(2) 地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対して情報提供の充実を図り、より理解し易い情報開示と公表に取り組む。 ・地域に密着した信用組合の特性を発揮し地域社会の発展に貢献している内容等を情報開示し地域の理解を得ていく。 ・地域の中小零細事業者や生活者に対して円滑な資金供給と金融サービスを提供していくと共に地域サービスの充実や文化的、社会的貢献活動も含めた地域貢献活動について広報紙、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌、ホームページ等を通して充実した分かりやすい情報開示に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(淡陽ニュース)発行。 ・ディスクロージャー誌の内容を見直し発行。 ・「献血運動」の実施。 ・「ピーターバンクカード寄付金」贈呈。 ・地域貢献活動、情報開示について検証、見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌(淡陽ニュース)4回発行 ・ディスクロージャー誌発行(24年7月25日) ・「献血運動」の実施(24年9月しんくみの日週間他) ・「ピーターバンクカード寄付金」贈呈(24年9月5日あわじ特別支援学校) ・ミニディスクロージャー誌発行(24年11月21日) ・第8回利用者満足度アンケート結果をホームページに公表(25年3月29日)